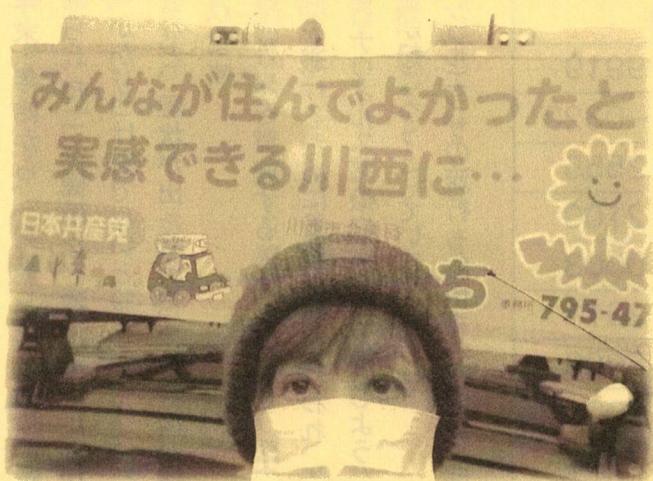


請願への賛成討論

私(黒田)は、この請願に対して賛成討論を行いました。骨子は次の通りです。

1. 市は9月議会で清和台幼稚園の廃園に関する条例を議案上程しましたが、議会は継続審査とし、審議未了・廃案となり、12月議会には廃園条例は提出されず、清和台幼稚園の廃園は決まっていないこと。
 2. 清和台幼稚園区では、市の計画の周知ができていないことや市・市長のその時々の説明や答弁に一貫性がなく、矛盾や説明会の先延ばしなどによつて今なお住民・保護者を混乱させていること。
 3. 廃園が決まつていないので、廃園ありきで4月の園児募集を行わるのはおかしいこと。教育委員会の裁量で園児募集を行わないので異常なこと。
 4. このようなやり方がまかり通れば、市が守るべき条例や議会の意志・役割が無視され、議会の存在そのものが地に落ちること。
 5. 清和台園区から牧の台みどりこども園に通園する家庭への通園費・タクシー代支援を実施するご家庭や、4歳児で在園するご家庭があり、潜在的に公立幼稚園に入園したいと



2023(令和5)年度の行政組織(案)

市民の目線で見てみよう

令和5年度川西市行政組織圖
(案)についての市の説明が、昨年12月22日の議員協議会であります。
組織編制は、3月定例会での議決
案件になりますが、これから川西市役
所が市民とどのように向き合っていく
のかが問われる内容ですので、注視す
る必要があります。

公民館民営化への危惧

当田の説明では、課の名称や課の順番は現時点の案で、今後変更する可能性があるとのこと。説明に対する質問で、私（黒田）は以下の点を指摘しました。

毎年の組織変更は本当に必要か

毎年、組織や名称、所管事務の変更があり、職員の退職・異動もあるため、職員は落ち着いて業務をこなし、積み上げていくことができるか、の懸念があります。

毎年、組織や名称、所管事務の変更があり、職員の退職・異動もあるため、職員は落ち着いて業務を「なし」積み上げていくことができるか、の懸念があります。

事務処理の間違い等が続き、監査からも指摘されているおり、職員が仕事に慣れたと思ったら、また変更とう状況が生まれていなか、内部統制の課題解決逆行していかないか。

3月定例議会へ予算要望

事務処理の間違い等が続き、監査からも指摘されているおり、職員が仕事に慣れたと思ったら、また変更とう状況が生まれていなか、内部統制の課題解決逆行していいか。

ます。
住民から預かった税金の使い方の優先順位は、住民の声や願いがかなう方向で決められるべきです。

「おかしい

私たちの
選挙に行
いる・認めな
ことをあき

— 1 —

事務処理の間違い等が続き、監査からも指摘されているおり、職員が仕事に慣れたと思ったら、また変更とう状況が生まれていなか、内部統制の課題解決逆行していいか。

毎年、組織や名称、所管事務の変更があり、職員の退職・異動もあるため、職員は落ち着いて業務を「なし」積み上げていくことができるか、の懸念があります。

事務処理の間違い等が続き、監査からも指摘されているおり、職員が仕事に慣れたと思ったら、また変更とう状況が生まれていなか、内部統制の課題解決逆行していかないか。

教育の独立性は、市長部局と教育委員会がすみ分けることで担保されてきました。市長部局の権限が強まるこの弊害や公民館の民営化（指定管理者制度導入など）、行政センターの統廃合が危惧される」と。新たに「市長公室」という組織ができたり、市民にわかりにくい組

日本共産党議員団の新年度予算に対する要望書への回答や、3月議会の内容などは、後日報告させていただきます。